



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

生育過剰な麦に効果あり！！

麦踏み徹底しよう！麦3葉期から茎立ち初期までに開始！！

今年の天候・気象経過

今年の11月・12月の平均気温は、平年並～高い状況になっています。
津市気象台データをもとに11月の平均気温は平年並みでしたが、12月の平均気温は、平年に比べて+0.8℃と高くなっています。また、東海地方の向こう3か月の天候の見通しでは、北からの寒気の影響が小さく、1月～3月の気温が平年並か高いと予想が出ています。
気象経過から麦の生育も高まり早くなりそうです。麦の生育が早すぎると寒い時期に麦の幼穂形成期が重なり、凍霜害になる原因になり収量に影響します。
早めに麦踏みをする事で、麦の過剰な生育を抑えられ凍霜害対策になります。
圃場が乾いたら、早めの麦踏み・積極的な麦踏みをしましょう！！



麦踏みの徹底・効果

麦の生育に重要な時期は冬の期間です。麦の生育後半に活力のある麦の基礎づくりに重要な時期になります。麦踏みは、暖冬の年や過剰な生育条件では高い効果を発揮します。

良い！麦踏み



- 麦3葉期頃の早い時期

主稈や早期の分けつの茎の幼穂形成を遅らせ、幼穂の生育ステージを揃え、茎を丈夫にして耐寒性を強くし凍霜害防止の効果があります。

- 茎立ち前の遅い時期

地上部にダメージを与えることで生育抑制・徒長防止・無効分けつの抑制・倒伏防止効果などがあります。

悪い！麦踏み



悪影響を与える麦踏みは？

- 乾いていない圃場の麦踏み

圃場が乾いていない状態で麦踏みをすると耕土を固めてしまい根の生育を妨げてしまいます。

- 早すぎる・遅すぎる・強すぎる麦踏み

早い時期では主稈を痛め、茎立ち後の遅い時期には穂ができる有効な茎まで折ってしまいます。

こんな麦踏みは、やめてください！！

生育過剰な場合

麦踏みの回数を増やし茎立開始直前まですると効果がアップ！！

麦踏みの間隔は、10日程度あける必要があります。